

ヘルスケアビジネスにおける 制度との向き合い方

演者

本間 政人 (医師)



株式会社Welby

エグゼクティブアドバイザー

合同会社Medical Owl 代表

京都府立医科大学経営改革推進監

神奈川県非常勤技術顧問

神奈川県立保健福祉大学非常勤講師

データ駆動型社会が実現されつつある今、ライフログデータとしての“PHR (Personal Health Record)”は、これからの社会・医療課題の解決に欠かすことができません。一方、プラットフォームとしての“PHR”は、ライフログデータのみならず医療データやマイナポータルデータ等を含む生活者個人の医療ヘルスケアデータ統合プラットフォームの役割を果たし、これからのデータポータビリティ社会において、どれほど重要な存在となるか…容易に想像できるでしょう。

本年度、全11回で月次開催する「Welby Lunch Session」では、データポータビリティ社会の実現に向け、医療・ヘルスケア領域における豊富な知見と実績を持つプロフェッショナルをお招きし、PHRデータ流通のビジネスへの応用に関する法令の解説や、安全なデータ流通のための新技術、さらに具体的なソリューションや事例を示しながら、医療DXの先にある社会と生活者の姿についての展望を皆様にお届けします。

第13回は、当社エグゼクティブアドバイザーからヘルスケアビジネスのこれまでの変遷についてご紹介します。過去、多くの企業が健康・医療関連分野へ参入し、新規ヘルスケア事業の立ち上げにチャレンジされました。しかしながら、薬事や医療保険、補助金など制度の複雑さにストレスを抱え、撤退を検討される企業も増えています。その一方で、こうした行政・制度をうまく利用しながら着実に業績を積み上げられている企業も出てきています。医療、行政、コンサルタントとしてのこれまでの経験を踏まえ、ビジネス機会を得るための行政・制度との向き合い方について、情報収集・検討すべきポイントについて講演いたします。

日時

2025年 3月 26日 (水)
12:05 ~ 12:55

場所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2025年 3月 25日 (火) 17:00まで

お申込みは**下記の二次元コードを**
クリックまたは**読み取り**ください

